

| | |
|-------------|----------|
| 泊発電所3号炉審査資料 | |
| 資料番号 | 資料8-7 |
| 提出年月日 | 令和5年3月2日 |

泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス

| No | 資料名称 | 該当ページ | 適正化内容 | 備考 |
|----|--|--------------|--|----|
| 1 | 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.7.0) | 7.1.8-59 | 概略系統図の修正 | |
| 2 | 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.7.0) | 添7.1.8.19-24 | 記載の適正化を実施 (旧) 評価の対象外とし、個別に整理を行う。 (新) GOTHIC 解析の評価対象外とし、個別に整理を行う。 | |
| 3 | 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.7.0) | 添7.1.8.19-24 | 記載の適正化を実施 (旧) 瞬時に混合し、雰囲気温度は最大で112℃まで上昇すると仮定する。 (新) 瞬時に混合すると仮定し、雰囲気温度は最大で112℃まで上昇する。 | |
| 4 | 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.7.0) | 添7.1.8.19-42 | 表1中のNo.の表現について、図1中の番号表現(①, ②…)に合わせ込みを行った。 | |
| 5 | 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.7.0) | 添7.1.8.19-43 | 図1中にT.P-1.7mを追記した。 | |
| 6 | 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.7.0) | 添7.1.8.19-44 | ”評価対象エリア”と”対象エリア”の表現揺れについて、”評価対象エリア”に統一、修正を行った。 | |
| 7 | 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.7.0) | 添7.1.8.19-44 | 記載の適正化を実施 (旧) 本評価対象エリアでは空気の流れがあると仮定し、対流物質伝達によって図2に示す範囲に広がった高温(100℃一定)の滞留水から蒸気が発生し続けると仮定する。さらに、対象エリア内に. . . (新) T.P.2.8m 通路では空気の流れがあると仮定し、対流物質伝達によって図2に示す範囲に広がった高温(100℃一定)の滞留水から蒸気が発生し続けると仮定する。さらに、 T.P.2.8m に. . . | |